

第5回 多摩市再生エネルギー事業化検討委員会 議事録		番号	議 005
		頁	1 / 2
議 題	1. 専門部会の報告・提案 ・広報専門部会 ・技術専門部会 ・基本情報専門部会 ・ファイナンス専門部会 2. 来年度の方針と委員会開催案 3. 総括 4. 阿部市長よりコメント	日時	2013年2月22日(金) 17:30 ~ 20:00
		場所	多摩信用金庫 多摩センター支店 Win プラザ多摩センター
		出席者	阿部市長、星旦二、稲垣憲治、江川美穂子、踊場敏子、須永修通、藤田道男、古屋将太、山川陽一、小池冬記、曾田勝康、戸辺文博、鈴木隆史、高森郁哉、大木貞嗣、林久美子、山川勇一郎、片桐徹也、澤山弘、他 (順不同、敬称略)
議事資料	・広報：3月23日報告会ご案内、その他 ・技術：飯田市視察、恵泉第1号太陽光発電システム進捗報告 ・基本情報：多摩 NT 集合住宅管理組合対象アンケート 第2回報告 ・ファイナンス：モデル事業試算結果概要、たまでん事業計画骨子 ・議事録抄録(第4回)		
議 事 内 容 (要 約)			
1. 開会の挨拶、初参加の稲垣氏(東京都環境局) 2. 議事 【広報専門部会報告】 3月23日(土)13:30より、多摩市再生可能エネルギー事業化検討協議会のこれまで実施した5回の会議内容についてエネ協会員及び市民に報告し、併せて多摩電力合同会社の事業計画・市民ファンド募集説明会を実施する旨の説明があった。 【技術専門部会報告】 < 恵泉大の進捗について > 恵泉女学園大学に設置する第1号太陽光発電システムの進捗状況について、これまでの経過と工事スケジュールなどの報告があった。 < 飯田市おひさまプロジェクト見学会報告 > 第2回の見学会として、2月6日より1泊2日で、主に「おひさま進歩エネルギー(株)と飯田市地球温暖化対策課での見学及び打ち合わせ状況について、資料、写真などで報告があった。 おひさま進歩エネルギー(株)では、原社長から案内され見学した写真を元に、人・物・金の地域内循環やエネルギーの地産地消、そしてコミュニティ作りなどが強調されている。 また、飯田市地球温暖化対策課との対話では、住宅用太陽光発電の普及率について、行政の目標として2030年世帯普及率40%を目指していることや、大手電力会社とのタイアップによる行政によるメガソーラー、公共性の高い事業を支援するための第三者や市民からなる公益団体による公益性の審査・認証制度などの報告があった。 意見1：飯田市は「公共性のあるものには太陽光パネルを乗せるのは当然というパラダイム作りを進めているようで、今までの実績を更に進化させている。 意見2：多摩市は“環境モデル都市”という言い方はしていないが、旗振り役として期待されていると考えている。 意見3：「環境未来都市」は内閣府が行っている事業だが、横浜市や富山市などは交通関係も含めてやっているので、多摩市もぜひがんばってほしい。			
～ 次頁へ ～			

～ 前頁より ～

【基本情報専門部会報告】

今年1月に実施した「多摩ニュータウン地域のソーラー発電に関するアンケート」の集計結果について、資料の説明があった。

意見1：アンケート結果を使って2, 3の団地とコンタクトを取っているが、「今後どう生かしていくか」を検討し、有効に活用してほしい。

意見2：団地の管理組合の多くは3月末または5月末に総会を開催するため、現在は総会に向けた準備をしている時期だが、できれば「こんな動きもある」との意識を持ってもらう事は必要。

意見3：総会での議案に乗せるのは無理でも、多摩市には管理組合の人たちが何か月に1回集まる「団地連絡会」や複数の団地が集まる協議会などがあるので、そのような場で説明をすると効率よく広げることができるので、来年度からでも始めると良い。

【ファイナンス専門部会報告】

《事業計画の骨子》

前回に「次回事業計画について説明する」としていたが、まだ条件が揃っていないので事業計画としてのまとめができないので、その骨子という形で次の資料（プロジェクト使用）説明があった。

- ・たまでんの思い（コンセプト）
- ・たまでんの基本方針
- ・事業の定量目標
- ・主なステークホルダー
- ・広報・広告活動
- ・物件の確保
- ・建設と保守
- ・資金調達的手段
- ・地域特性に合った資金集めのイメージ
- ・市民ファンドの概要
- ・市民ファンド商品デザイン
- ・少額ファンドの検討

《ファイナンスの試算》

次の4つの前提条件を基に、2013年度と2014年度の試算結果について数値とグラフの資料（プロジェクト使用）により説明があった。

- ・発電条件
- ・資金調達条件
- ・税負担等条件
- ・経常経費

意見1：非常に丁寧に作られていると感じていて地元金融機関としても、詳細は今後だが一步一步進めている。

意見2：ファイナンスを物件に合わせて、個々の状況に合わせるのか、年間全体でやるのかは、大きな分かれ道になる。融資なども4期に分けることにチャレンジしてできたら良いと思う。

【来年度の方針と委員会の開催について】（事務局より）

本事業は3年間継続になっているが、単年度ごとの委託契約となっていることから、次年度の事業計画を現在申請している。現状で確定ではないが、来年度は隔月5回程度行い、第1回を5月下旬開催に向け検討している。

続いて、各委員より総括的なご意見を頂き、委員長よりまとめの意見が示された。

【多摩市長】

ご挨拶の後、市の取り組みについて話があり、最後に検討委員会に対し感謝の意が表された。

以 上